

1 年生 道徳学習指導案

場 所：1年生教室
授業者：河村 洋子

1 主題名 いっしょに遊ぼう

2 教材名 「およげないりすさん」 <出典：文部科学省 わたしたちの道徳>

3 主題構成表

| | | |
|--|--|---|
| <p>■内容項目 友情、信頼 友達と仲よくし、助け合うこと。</p> | <p>■内容項目から見た児童の実態（意識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活に慣れ、友達と誘い合って楽しく遊ぶ姿が見られる。 ・困っている友達を手伝い、助け合う姿が見られる。 ・わざとちょっかいをかけたリ、嫌なことを言ったりするなど、相手の気持ちを考えない行動がある。 <p>■意識の要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と活動する楽しさを感じている。 ・困っている子を手伝って大人に認められたいという気持ちがあり、自分たちで助け合うとまでは考えていない。 ・自己中心的で、相手の立場を理解したり、自分と異なる考えを受け入れることが難しかったりすることがある。 | <p>■教材の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あひる、かめ、はくちょうが池の中の島で遊ぶ相談をする。連れて行ってほしいというりすに「泳げないからだめ。」と断るところから、相手の気持ちを考えないかめ達に共感することができる。 ・中の島で遊んでいても、りすのことが気になって楽しくないため、かめ達は、泳げないりすを連れてくる方法を話し合う。そのときのかめ達の気持ちを考えることで相手の気持ちを考えて行動することの大切さに気付くことができる。 ・次の日、かめ達はりすに謝り、かめがりすを背中にのせて島へ行く。そのときの気持ちを考え、仲よく助け合うこと大切さに気付くことができるようにする。 |
|--|--|---|

■ねらい
友達の気持ちを考えて行動することの大切さに気づき、友達と仲よく助け合っていこうとする心情を育てる。

| | |
|---|---|
| <p>■展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「泳げないからだめ。」と断ったかめの気持ちとりすのことが気になり、一緒に行くことにしたかめの気持ちを考えることで、相手の気持ちを考えて行動すること大切さに気付くようにする。また、りすが置いて行かれた悲しい気持ちにも触れ、困っている友達の気持ちを考える大切さに気付かせたい。 ・かめがりすを背中に乗せて一緒に島に向かう場面では、役割演技を行い、双方の気持ちや思いを考え合うことで、仲よく助け合うことよきや楽しさに気付かせるようにする。 ・友達の気持ちを考えて仲よくできたことを振り返り、仲間と仲よく助け合おうとする気持ちを高める。 | <p>■基本発問（◎中心発問）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○かめさんはどんな気持ちで「りすさんは泳げないからだめ。」と言ったのだろう。 ○中の島で遊んでいるときのかめさんはどんな気持ちだったのだろう。 ◎りすを背中にのせて島に行くかめさんは、どんな気持ちだろう。 <p>【深】・みんなで行くとどうして楽しいの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りすさんがうれしいと自分もうれしいの。 ・どうして大変なのにりすさんを連れていくの。 <p>○『友達の気持ちを考えて仲よくできたこと』について自分を振り返ろう。</p> |
|---|---|

■「わたしたちの道徳」の活用（授業前・授業中・**授業後**・活用しない）

- ・学級の時間にP75「友達と仲よくして楽しかったことやうれしかったこと」を書き込む。

| 観 | 学習活動（基本発問と予想される児童の反応） | 指導・援助 |
|----------------------------|---|---|
| 気付く 見つける 深める 見いだす | 1 登場する動物たち（りすさん、あひるさん、かめさん、はくちょうさん）を知り興味をもつ。 2 「およげないりすさん」の絵話を聞いて、感想を交流する。 ・りすさんを置いていくなんでかわいそう。 ・かめさんが乗せてくれたのでりすさんは喜んで思う。 3 感想をもとに、主人公について話し合う。 ○かめはどんな気持ちで「りすさんは泳げないからだめ。」と言ったのだろう。 ・ぼくたちは泳げるけど、りすさんは泳げないから仕方ないよ。おぼれてしまうよ。 ・かわいそうだけど、泳げないから無理だよ。 ・また、今度遊ぼうね。 ○中の島で遊んでいるときのかめさんはどんな気持ちだったのだろう。 ・りすさんがいないとつまらないな。自分達だけでは楽しくないな。悪いことをしてしまったな。 ・りすさんを仲間はずれにしてしまった。悲しいだろうな。ごめんなさい。かわいそう。 ・りすさんを連れてきてあげたいな。一緒に遊びたいな。 ◎りすを背中にのせて島に行くかめさんは、どんな気持ちだろう。 ・りすさんを連れて来ることができてよかった。 ・みんなで行けてうれしいな。 ・りすさんも喜んでくれてうれしいな。 ・友達っていいな。 ・みんなで遊ぶの楽しみだね。 【深めの発問】 ・みんなで行くとどうして楽しいの。 ・りすさんがうれしいと自分もうれしいの。 ・どうして大変なのにりすさんを連れて行くの。 ・みんなで行くと楽しいなあ。自分だけが楽しいのではなくて、みんなで仲よくするとうれしくなるからだよ。わたしも、一人より友達と遊ぶと楽しいよ。 ともだちのきもちをかんがえてなかよくする。 4 友達の気もちを考えて仲よくすることについて、自分の生活とつなげて振り返る。 ○友達の気持ちを考えて仲よくしたことはあるか。 ・ドッジボールのとき、自分がたくさんボールを投げたから「どうぞ。」と言って渡したよ。友達も投げたいと思っていたと思ったからだよ。 ・一輪車を「一緒にやろう。」と言ったら、「いいよ。」と言って乗り方を教えてくれたよ。うれしい気持ちだったよ。 5 本時の自己評価をする。 ・主人公になりきって考えることができましたか。 | ・登場する動物たちをペープサートで紹介し、教材の世界へ入りやすくする。 ・主人公について「いいなあ」「ざんねんだな」という観点で感想をもたせる。 ・かめさんになりきって話すよう呼びかける。 研究（2）①役割演技の位置付け ・「りすさんは泳げないからだめ。」の後のせりふを考えて言い、自分のことしか考えていないかめ達の気持ちに共感させる。 ・りすを仲間はずれにしてしまった気持ちとりすを連れて行きたい気持ちを分類して板書し、相手に対する気持ちの変化に気付くようにする。 ・りすの悲しい気持ちを考え、友達を思うからこそ自分達も楽しくないという相互の関係に気付かせる。 研究（2）①役割演技の位置付け ・ペアでかめの役とりすの役の役割演技をすることで、仲よく助け合って行動するとうれしい気持ちになることから、仲よくすることの大切さに気付くようにする。 ・役割を交代し、りすの気持ちも考えさせる。 ・代表児童の演じている様子を見て、かめやりすの気持ちを考えさせる。 研究（2）②深めの発問の工夫 ・子どもの思考に沿わせることができるように複数用意する。 ・多様な考えに触れることができるように自分の考えを理由を付けて話させる。 研究（2）②語り合いの工夫・ペア交流 ・話型を提示して話す手がかりにする。 ①～したとき ②～したよ。 ③～という気持ちだったよ。 ・ペアで振り返ったことをインタビューして聞き合うようにする。 ・具体的な場面を提示し、友達と仲よくした経験を想起できるようにする。 ・プリントを配布し当てはまるものにチェックさせる。 |

5 道徳の時間（本時）と他の教育活動との関連

<日常生活>

<教科・特活>

<児童の意識>

<指導・援助>

休み時間

- ・「入れて。」と言った友達は誰でも受け入れ、一緒に遊ぶ。
- ・一人で遊んでいる子を誘う。
- ・自分勝手な行動をせず、仲よく遊ぶ。

学級遊び

- ・遊びのルールを守って仲よく遊ぶ。
- ・けいどろで助けたり、ドッジボールでボールを譲ったりする。

ペア学習

- ・友達と一緒に練習したり、考えを話したり聞いたりする。

授業中

- ・仲間の話を顔を見て聞く。発言に反応してハンドサインをする。

帰りの会

- ・すてきみつけを通して、相手の気持ちを考え、困っている子を助ける行動をしている子に気付く。

9月（学級活動）
ぼかぼか言葉をつかおう

みんなが仲よくできる言葉や使いたくない言葉を話し合う。

仲よく学級遊びをしよう

学級遊びについて考え、みんなが仲よく活動できるようにする。

- ・友達と遊ぶのは楽しいな。友達に優しい言葉を使って仲よくなりたいな。

- ・学級目標のように笑顔いっぱいになりたいな。
- ・1年生になったので、みんなと仲よくしたいな。
- ・友達にぼかぼか言葉をつかいたいな。
- ・困っている人がいたら助けてあげよう。

- ・みんなと仲よく遊ぶのは楽しいな。
- ・友達が優しくしてくれるとうれしいな。
- ・自分も優しくしたいな。

- ・学級目標「えがおいっぱい1年生」を意識した声か掛けや価値付けを継続して行う。
- ・学級で決めたぼかぼか言葉とちくちく言葉を掲示し、いつもみんなが意識できるようにする。
- ・困っている子に親切にしたり、助けたりする子にその心情を聞き、価値付ける。
- ・学級遊びを仕組み、遊びを通して仲間と助け合ったり、応援したりできるようにする。
- ・人の気持ちを考えた行動を価値付ける。

9月（学校行事）

運動会

仲間と力を合わせて練習する。

友達を応援する。

学級の取組について話し合い、帰りの会で毎日振り返る。

- ・みんなで力を合わせると力がでるよ。応援されるとうれしいな。自分も応援するよ。

- ・全力で仲間と力を合わせて競技をしたり、応援したりしよう。
- ・友達が困っていたら教えたり、声をかけたりしよう。
- ・ペアや仲間と励まし合って行動しよう。

- ・全校の運動会のスローガンを意識できるように話をする。
- ・学級の取組のよい点、高まった点を価値付ける。
- ・友達と力を合わせて頑張っている姿を価値付けていく。

道徳の時間（本時） 友情、信頼 資料名 「およげないりすさん」

本時のねらい

友達の気持ちを考えて行動することの大切さに気づき、友達と仲よく助け合っていこうとする心情を育てる。

日直・係活動

- ・みんなのために働く。
- ・仲よく助け合って仕事をしよう。

ふれあい班活動・掃除・分団登下校

- ・班長さんの指示を聞き仲よく行動する。

11月（児童会行事）

北方っ子集会

ふれあい班の子とルールを守って仲よく協力して活動しよう。

- ・優しい言葉をかけてもらとうれしいな。ふれあい班の人と仲よくしたいな。

- ・ふれあい班の人と力を合わせてゲームの準備をしよう。
- ・協力して準備しよう。
- ・仲間の応援をしよう。

- ・ふれあい班の子と仲よく協力して活動している姿を認めていく。
- ・仲間を応援している姿を価値付ける。
- ・親切にしてくれた上級生に気付く姿を価値付ける。

ともだちのきもちをかんがえてなかよくする。

- ・ともだちっていいな。



りすさんをせなかのせて

- ・みんないっしょ
- ・よろこんでくれてうれしいな。
- ・なかよくできた。

- ・りすさんとあそびたいな。
- ・りすさんをつれてきたいな。



- ・かわいそうだな。
- ・りすさんにわかるかったな。
- ・かなしいだろうな。

あそんでいてもだのつくない。

- ・りすさんがいないとつまらない。



- ・ごめんね。
- ・むりだよ。

りすさんはおよげないからため

およげないりすさん
かめさん（あひるさん・はくちようさん）